

1 一般会計

(R2 年度当初予算)	(R1 年度当初予算)	(比較)
10,330,000 千円	9,905,000 千円	+425,000 千円 +4.3%

【歳入の主なもの】

歳入の主な計上内容については、次のとおりである。

- (1) 町税 1,694,170 千円 (前年度 1,709,301 千円 Δ 0.9%)
 - ア 法人税 (現年) 前年比 Δ 37,770 千円
 - イ 固定資産税 (現年) 前年比 +17,881 千円
- (2) 地方交付税 4,005,000 千円 (前年度 3,981,000 千円 +0.6%)
 - ア 普通交付税 前年比 +31,000 千円 +0.8%
 - イ 特別交付税 前年比 Δ 7,000 千円 Δ 2.7%
- (3) 繰入金 763,851 千円 (前年度 695,404 千円 +9.8%)
 - ア 財政調整基金繰入金 276,000 千円 (前年比 +88,000 千円)
 - イ 地域振興基金繰入金 21,300 千円 (前年比 Δ 131,500 千円)
 - ウ ふるさと未来夢基金繰入金 424,300 千円 (前年比 +113,700 千円)
 - エ 地域活性化基金その他基金繰入金 42,251 千円 (前年比 Δ 1,753 千円)
- (4) 町債 410,000 千円 (前年度 315,100 千円 +30.1%)
 - 臨時財政対策債 205,000 千円 (前年比 Δ 20,000 円)
- (5) 国庫支出金 1,076,090 千円 (前年度 982,024 千円 +9.6%)
 - ア 社会資本整備総合交付金 123,698 千円 (前年比 +27,954 千円)
 - イ 地方創生推進交付金 32,174 千円 (前年比 +24,374 千円)
 - ウ 史跡等買上げ事業費補助金 74,920 千円 (皆増)
- (6) 県支出金 944,082 千円 (前年度 962,933 千円 Δ 1.9%)
 - ア 農地災害復旧費過年度補助金 Δ 20,600 千円 (皆減)
 - イ 農業用施設災害復旧費過年度補助金 Δ 37,400 千円 (皆増)

【歳出の主なもの (所属ごと)】

1. 総務課

○防災・減災への対策

- ・専用アプリ防災情報発信事業 [3,014 千円] **【新規】**

屋外放送が聞こえない等の課題解決を図るため、専用アプリを活用し、緊急時を含む防災無線をスマホから情報提供する。

○ICT化の推進

- ・RPA ツール導入 [2,538 千円] **【新規】**

RPA ツールを導入し、税務や下水道業務等を効率化する。

○行財政改革の推進

- ・ PPP/PFI 導入調査事業[8,232 千円] **【新規】** R1.3月補正予定 (R2へ繰越)

東伯総合公園の管理運営における民間資金等活用導入の可能性を模索するため、調査委託を行う。

2. 企画政策課

○地域課題の解決

- ・ 地域づくりワークショップ [1,760 千円] **【拡充】**

人口減少対策を図るため、地区ごとの人口ビジョンを基にワークショップを実施する。

「一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所 (藤山浩所長)」に委託し、琴浦回帰 1% 戦略を展開する。

- ・ 地域づくり事業補助金 [3,600 千円] **【拡充】**

地域課題を解決するため、公民館と地区振興協議会の業務を整理するとともに地区ごとに取り組む課題解決に向けた試行・実践を支援する。

○公共交通の対策

- ・ 住民ドライバー活用交通実証実験 [1,000 千円] **【新規】**

安田地区、成美地区の一部において住民ドライバーによる市町村有償運送など、地域の力を借りた新たな交通システムについて実証実験を行う。

- ・ 官民連携によるライドシェア事業 [200 千円] **【新規】**

行政だけで公共交通を維持できない現状の中、地域で住民ドライバーによる相乗りの取組を支援するため、町の公用車を地域団体 (徳万地区、商工会) へ貸出し (試行) を行う。

あわせて、相乗り交通時の自動車保険料に対する助成制度を新設する。

3. 商工観光課

○商工業の振興

- ・ 地域経済循環分析調査 [5,016 千円] **【新規】**

町民を対象とした品目別の家計調査を行い、域外経済流出の現状把握とともにその対策を講じ、琴浦回帰 1% 戦略を展開する。

- ・ I J U ターン起業支援事業 [4,000 千円] **【拡充】**

移住定住を促進するため、新たにガバメントクラウドファンディング制度と連携し、I J U ターン者起業を支援する。

○観光振興の推進

- ・ コトウラ観光産業化プロジェクト [42,102 千円] **【拡充】**

道の駅琴の浦を観光拠点と位置づけ、運営方法の検討や一部施設改修を行うとともに、観光情報発信機能を拡充する。

- ・一向平キャンプ場観光地化プロジェクト [13,870 千円] **【拡充】** R1.3 月補正予定 (R2 へ繰越)
一向平キャンプ場を一部リニューアルし、民間活力の導入 (指定管理者) により、町の山岳観光拠点を拡充する。

○関係人口の創出

- ・ふるさと住民票 [1,089 千円] **【新規】**
町出身者やふるさと納税寄付者を対象として、「ふるさと住民票」制度を開始する。
- ・ワーケーション推進事業 [360 千円] **【新規】**
事業所や農家へのお手伝いと旅行を兼ねた「おてつたび」事業を活用し、都市部の学生を受け入れ、琴浦町のファンをつくる。

4. 農林水産課

○スマート農業の推進

- ・スマート農業推進事業 [7,000 千円] **【新規】**
環境モニタリング等により栽培データを見える化し、新規就農者及び研修生の技術習得、既存農業者の技術向上の支援を行う。

○森林環境の保全

- ・森林環境譲与税関連事業 [13,548 千円] **【拡充】**
森林環境譲与税を活用した森林の適正な管理を図るため、経営管理権の集積計画策定や、木育教育を行う。

○災害復旧

- ・災害復旧事業 [156,697 千円] **【拡充】** H30、R1 からの繰越含む
平成 24 号台風の被害への対応を図るため、継続して災害復旧を行う。

○「鳥取県型低コストハウスによる施設園芸等推進事業」及び「産地パワーアップ事業」の増額

- ・低コストハウス、産地パワーアップ事業 [6,600 千円] **【拡充】** R1.2 月補正予定 (R2 へ繰越)
国の補正に伴い低コストハウスと資材導入の追加を行うもの。

5. すこやか健康課

○健康寿命日本一づくり

- ・運動習慣の普及・定着事業 [3,902 千円] **【拡充】**
町民の運動定着により健康寿命の延伸を目指し、コーディネーターを地区公民館や企業へ巡回することによりその運動方法を広める。また、コーディネーターの指導内容を記録保存し、指導者養成に向けた準備を行い、効果あるこの取組を持続可能なものへと繋げる。
- ・健康経営総合支援モデル事業 [450 千円] **【新規】**
町内企業に勤務する方の健康増進を図るため、健康経営の取組を希望する事業所の支援を

行う。

- ・フレイル対策事業（高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施）[6,600千円]【新規】
健康寿命の延伸を図るため、包括・国保・介護の相互連携を行い効果の高い保健事業を推進し、フレイル予防を拡充する。

6. 子育て応援課

○子ども・子育て支援

- ・ふなのえこども園のあり方検討 [96千円]【新規】
ふなのえこども園の今後のあり方について検討を行う。
- ・放課後児童クラブ長期休業期間開設事業 [2,607千円]【新規】
高学年の長期休業期間の受入ニーズが高いことに対応し、まなびタウンで長期休暇期間の放課後児童クラブを開設する。

7. 建設環境課

○ごみの減量対策（SDGs）

- ・リサイクル推進事業 [754千円]【拡充】
SDGsに関連したごみ減量対策を行うため、軟質プラスチックの新たなごみ分別を試行的に実施する。また、小学校での環境教育及び住民向けのごみ分別・リサイクルを推進する環境講演会を実施してごみ減量に対する普及・啓発を行う。また、ごみ出し困難者対策として、地域のボランティアが時間を気にせずにごみ出し協力出来る場所を提供する。

8. 教育総務課

○学生の経済的負担の軽減

- ・琴浦町未来人材奨学金返還支援事業 [1,800千円]【新規】
大学生等の経済的負担を軽減するため、またIJUターンを促進するため、IJUターンした学生が返済する奨学金に対し支援を行う。
- ・高校生通学費補助金 [6,359千円]【新規】
公共交通機関を利用して通学する高校生に対する経済的負担の軽減を図るため、月額7,000円を超えた額の通学費に対する助成を行う。
- ・フリースクール利用料補助金 [480千円]【新規】
経済的理由でフリースクール授業料の支払が困難な家庭に対し、授業料を補助する。

○学校課題の解決

- ・学校活性化事業 [1,140千円]【新規】
各学校の課題解決や教員の指導力向上及び授業改善のため、大学等の教授等を講師として招聘し、授業研究や研修等を行う。

○学校 ICT の推進

- ・指導者用デジタル教科書導入事業 [2,304 千円] **【新規】**
小学生の学習理解を深めるため、また教材研究や授業準備の負担を軽減するため、指導者用デジタル教科書を導入する。
- ・GIGA スクール推進事業 [101,144 千円] **【新規】** R1.3 月補正予定 (R2 へ繰越)
小・中学校における ICT 教育の拡充を図るため、小中学校に高速・大容量ネットワーク環境の整備及び、小学校 5.6 年生と中学校 1 年生のパソコンを 1 人 1 台整備する。

○教員の働き方改革

- ・学校カイゼン推進校支援事業 [2,607 千円] **【新規】**
教職員の働き方を改善するため、モデル校 1 校を指定し業務内容の調査を行い、改善の指導・助言を行う。

9. 社会教育課

○文化財の保存・観光活用

- ・斎尾廃寺跡保存活用事業 [93,651 千円] **【拡充】**
山陰唯一の特別史跡を公有地化し、将来にわたり、適切な保存を行うとともに、教育や観光などに活用する。

○まなびタウンと図書館の活用

- ・まなびタウン・図書館の再生計画策定事業 [7,150 千円] **【新規】**
町民の意見を活用してよりよい図書館の運営を行うとともに、まなびタウンのエアコン修繕と施設の見直しを行う。
- ・まちなか図書館事業 [100 千円] **【新規】**
町内の福祉施設や店舗等に図書コーナーを設け、より地域で図書に親しんでもらうため、移動図書館車は経年劣化により廃止する。

○東京オリンピック

- ・東京オリンピック聖火リレー事業 [700 千円] **【新規】**
聖火リレー出発式のイベントや、聖火ランナーとは異なる「サポートランナー」の実施を行い、東京オリンピックに向けて機運を盛り上げる。

○勤労者体育センターの除却

- ・東伯勤労者体育センター除却事業 [36,520 千円] **【新規】**
R1.2 月補正予定 (R2 へ繰越)・R2 当初
屋根等の老朽化に伴い危険となったため、東伯勤労者体育センターを除却する。